

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **消防局**

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根づき_誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	芸術・文化の振興

担当局 / 総務担当課名	消防局	人事企画課
連絡先	582 - 3805	

21年度計画

-2-(2)-

施 策 名 **市民が芸術・文化に接する機会の拡大**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	音楽隊の演奏とカラーガード隊の演技を通じて、消防の広報を努めるとともに、市主催の式典やスポーツ・文化の祭典、国際的な行事などに積極的に出演し、市民が芸術に接する機会の拡大を図ります。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	芸術・文化の振興

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成21年度	計画	実績		年度	平成25年度
消防音楽隊年間出演回数	年度	平成21年度	計画	実績	160 回	年度	平成25年度
	現状値	155回	達成度	96.9 %	155 回	目標値	200回程度
	年度		計画			年度	
	現状値		実績			目標値	
	達成度		%				
	年度		計画			年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費	9,128 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
			うち一般財源	9,128 千円	1,050 千円		

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	B	「消防音楽隊年間出演回数」の結果から、おおむね良好に事業が推進されていると考えます。しかしながら、平成21年度において、当初の計画では160回の出演予定であったのに対し、実際は155回の出演でした。また、出演回数のみならず、機会を捉え観客の満足度についても知る必要があります。なお、平成22年度からは、警察音楽隊と連携し、音楽を通じて「安全・安心」をPRする事業を計画しています。
		目標値達成に向け、ホームページを活用し、出演内容・状況等を積極的に更新することで、出演依頼の増加を図ります。また、出演回数のみならず、機会を捉え観客の満足度についても知る必要があります。なお、平成22年度からは、警察音楽隊と連携し、音楽を通じて「安全・安心」をPRする事業を計画しています。

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	消防局	人事企画課
連絡先	582-3805	

基本計画	柱	暮らしを彩る
	大項目	生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興
	取組みの方針	芸術・文化の振興
	主要施策	市民が芸術・文化に接する機会の拡大

関連計画	北九州市新消防プラン21
事業期間	昭和38年～
経費区分	

-2-(2)-

事業名	消防音楽隊による文化活動						
事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市主催の式典や消防の各種行事に出演し、市民参加向上の役割を担うとともに、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、北九州市のPR活動や防火・防災普及啓発活動を実施します。併せて、幼少年の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に幼少年教育(消防“夢”コンサートの開催)に貢献します。					
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	市民が芸術・文化に接する機会の拡大			成果	消防音楽隊年間出演回数
							消防音楽隊年間出演回数

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	ホームページアクセス件数 5737件	ホームページアクセス件数 6000件	ホームページアクセス件数 7000件	ホームページアクセス件数 8000件	ホームページアクセス件数 9000件		ホームページアクセス件数 9000件	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		ホームページアクセス件数					計画	5,000 件	年度	平成25年度
		ホームページアクセス件数の増加により、市民に消防音楽隊の活動内容等を知ってもらうことで、知名度が上がり、出演依頼の増加に繋がると考えられます。そのためには、出演内容・状況等を積極的に更新し、見てもらえるホームページを作成する必要があります。					実績	5,737 件	内容	9000件
							達成度	114.7 %	年度	
	コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度: 執行額]					事業費	9,128 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	9,128 千円	1,050 千円	
	単年度計画	職員14名 嘱託40名								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は、新型インフルエンザの流行による学級閉鎖や大雨等の影響で公演が中止となるケースが14件あったため、目標とする年間出演回数を果たすことができませんでした。ホームページは計画的に更新し、目標以上のアクセス件数を達成しました。
-------------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	年間150回以上の出演により、市民に北九州市のPR活動や防火・防災普及啓発活動を実施しています。市民が芸術・文化に触れる機会を拡大することに十分成果を果たしていると思慮でき、今後も更なる出演回数の増加に努めます。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い 2: やや低い	3	音楽隊バス運行管理業務の契約方法見直しにより、事業費の削減を図ります。その他消耗品等は必要最小限に抑えており、出演は無償で行っていることから、コスト削減の余地は少ないと考えます。同じコストで高い効果を得るためには、市民と触れ合う機会の増加に努めることが求められます。消防音楽隊の知名度を上げ、更なる集客力増加のため、ホームページを活用し広報活動を実施していく必要があると考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	1: 低い	4	政策実現のため、今後も本事業を積極的に実施していく必要があります。毎年出演依頼のある団体も多数あり、本事業を休止・廃止する場合、問い合わせ及び音楽隊存続の要望が殺到する等の影響が出てくるのが予想されます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。		4	消防音楽隊でなければ、本事業の内容・目的を達成することは不可能です。年間150回以上イベント等に出演し、市民に本物の音楽に触れてもらうとともに、北九州市のPR活動や防火・防災普及啓発活動ができる機関は、消防音楽隊以外にないと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	本事業は、施策の実現に対する有効性が高く、今後も目標達成に向けた努力をしていく必要があります。そのためには、他機関と連携してコンサートを実施する等の工夫を凝らす必要もあります。平成22年度からは、警察の音楽隊と連携し、音楽を通じて「安全・安心」を市民にPRする事業を計画しています。なお、音楽隊バス運行管理業務の契約方法見直しにより、事業費の削減を図ります。	